



ニセコグローブ製作所

地域資源であるエゾシカ革を活用した スキーグローブを開発 ～地域に愛されるメーカーになるための挑 戦～

代表者名：鎌田 諭

創業時の年齢：37歳

所在地：北海道虻田郡ニセコ町

業種：スキーグローブ製造

創業年月：2022年10月



ソーシャルビジネス（地域課題解決）

地域資源を活用した創業

趣味・特技を活かした創業

創業

スキーに関わる“ものづくり”をしたい

幼少期から慣れ親しんできたスキー競技。学卒後、就職を機に競技から離れていましたが、熱い思いは漠然とありました。そのような中、道内で有害駆除されているエゾシカの現状を知りました。駆除されたエゾシカは「肉」の活用が進む一方で「皮」の多くは廃棄されており「何か活用方法はないか？」と試行錯誤を重ねていました。

その結果、「皮」の特段のしなやかさと他の素材に劣らない保温性や強度に気づきました。特徴を活かせるスキーギアの中で、自分自身でつくれるものを考えたときに「スキーグローブ」と出会えたのです。

滑り手の自分が、この土地ならではのエゾシカ革を活用したグローブをスキーのメッカであるニセコ町で、滑り手のためにつくることに価値と可能性を感じたことが創業のきっかけです。



創業時に口にしたこと、考えたこと



地域の人々との繋がりを意識

ニセコ町地域おこし協力隊の着任です。スキーに関連するビジネスを行うにあたり、スキー愛に溢れる人たちが多くいるニセコ町で情報を得ながらもものづくりをすることが必要と感じていました。一方で、いきなりひとりで始めるよりも、協力隊の活動を通じて地域の人たちとの繋がりをつくることで、多くの人が事業に関わってもらえるのではないかと考え、地域おこし協力隊に応募しました。東京都からニセコ町に移住をしたことが功を奏し、創業時にエゾシカ皮の仕入ルートがなくなっていたところ、地域おこし協力隊の人脈で仕入先を確保することができました。地域おこし協力隊の活動で得た人脈があったからこそ、創業を実現でき、計画通りに進められていると感じております。

現在

素材の良さとオーダーメイドでの提供が強み

スキーグローブ市場は、大量生産の既製品が大半を占める市場です。そのような中で、オーダーメイドで特色のある商品を提供できるのが当社の強みです。エゾシカの皮を活用し、環境に配慮された商品であり、しなやかさと熱が適度にこもるのが特徴です。現在、アフターコロナの需要増加に合わせて商品のラインナップを増やしており、ニーズに合わせた商品開発を進めています。ぜひ、手に取って素材の良さを実感してほしいです。



今後

みんなで作るスキーグローブで“地域に愛されるメーカー”へ

「雪や山を愛する人たち」、「地域の人たち」など、みんなで作くり上げるスキーグローブにしていきたいです。ゲレンデで滑る人、競技志向の人、バックカントリーの人、スキー場で働く人など、グローブを使うシーンは多岐にわたります。さまざまな意見をもとに、それぞれのニーズに合ったスキーグローブを提供することで、“地域に愛されるメーカー”に育てていきたいです。